

表1 694都市における人口動態実態、経済実態、医療供給実態に関する分布

変数名	平均値	標準偏差	変動係数	最小値	最大値
民力総合指数	115.751	212.820	183.859	3.9	2630.9
一人当り民力水準	103.637	138.778	133.907	67.6	3671.6
年齢別人口構成比：15歳未満	15.499	1.836	11.845	9.0	23.3
年齢別人口構成比：15～29歳	20.432	2.939	14.386	12.2	28.0
年齢別人口構成比：30～44歳	18.681	1.761	9.427	12.8	25.4
年齢別人口構成比：45～64歳	28.493	1.969	6.912	21.1	35.9
年齢別人口構成比：65歳以上	16.896	4.575	27.081	6.6	30.7
住民基本台帳人口伸び率（1998年／1997年）	100.128	0.782	0.781	96.7	103.3
人口密度	2125.268	3168.246	149.075	21.5	18811.4
出生率人口10万比	94.659	262.526	17.117	41.8	165.8
婚姻率人口10万比	58.777	145.366	20.513	26.7	104.5
産業3部門別就業人口比：第1次産業	6.736	40.414	94.373	0.0	32.1
産業3部門別就業人口比：第2次産業	32.934	68.234	25.082	12.2	58.1
産業3部門別就業人口比：第3次産業	59.890	91.296	15.954	34.0	86.8
小売り商店年間販売額伸び率（1997年／1994年）	103.854	86.438	8.952	59.6	155.5
地方税収入伸び率（1998年／1997年）	104.405	9.433	2.942	87.5	123.4
所得格差	94.776	526.530	24.211	45.9	246.8
世帯当たり自動車総保有台数	1.689	0.217	27.602	0.4	3.0
世帯当たり乗用車保有台数	1.160	0.084	24.973	0.3	1.9
世帯当たり新設着工住宅戸数	0.025	0.000	34.924	0.0	0.1
人口千当たり医師数	1.676	0.976	58.923	0.3	11.5
人口千当たり病床数	17.663	89.416	53.535	0.4	53.7
持ち家世帯比率	66.804	137.635	17.561	35.0	93.5
延べ住宅面積	96.529	461.979	22.266	53.0	184.3
交付税依存度	28.976	445.313	72.827	0.0	90.2

表2 694都市の保育所入所待機率および25～39歳女性の就業率の類型群

<高入所待機率・高女性就業率都市群（Ⅰ群）>（75都市）

士別、富良野、青森、弘前、八戸、黒石、大船渡、水沢、北上、江刺、石巻、古川、名取、秋田、湯沢、山形、鶴岡、酒田、新庄、郡山、白河、栃木、日光、真岡、黒磯、伊勢崎、港、墨田、江東、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、荒川、板橋、練馬、葛飾、武蔵野、三鷹、調布、小金井、国分寺、国立、狛江、清瀬、あきる野、福井、葦崎、浜松、伊東、焼津、藤枝、袋井、浜北、半田、久居、長浜、八日市、鳥取、境港、松江、府中、観音寺、久留米、長崎、大村、熊本、別府、中津、枕崎、出水、指宿、那覇、石垣

<高入所待機率・低女性就業率都市群（Ⅱ群）>（95都市）

釧路、千歳、仙台、水戸、龍ヶ崎、常陸太田、鹿嶋、川越、浦和、大宮、所沢、東松山、狭山、深谷、上尾、越谷、鳩ヶ谷、朝霞、和光、新座、富士見、上福岡、市川、佐倉、浦安、足立、江戸川、八王子、立川、青梅、府中、町田、小平、日野、東村山、田無、保谷、福生、東久留米、多摩、羽村、横浜、川崎、藤沢、茅ヶ崎、相模原、秦野、厚木、大和、海老名、綾瀬、大津、向日、大阪、堺、岸和田、豊中、吹田、泉大津、守口、枚方、八尾、富田林、寝屋川、河内長野、松原、箕面、羽曳野、門真、藤井寺、東大阪、四條畷、交野、大阪狭山、神戸、姫路、明石、加古川、宝塚、檜原、御坊、岡山、因島、北九州、春日、大野城、宗像、太宰府、古賀、大分、具志川、宜野湾、浦添、糸満、沖縄

<低入所待機率・低女性就業率都市群（Ⅲ群）>（193都市）

札幌、函館、旭川、室蘭、帯広、岩見沢、留萌、苫小牧、稚内、江別、名寄、滝川、砂川、歌志内、登別、恵庭、北広島、石狩、多賀城、日立、土浦、古河、結城、高萩、北茨城、取手、牛久、つくば、ひたちなか、宇都宮、小山、高崎、太田、館林、渋川、安中、熊谷、川口、行田、飯能、加須、岩槻、春日部、鴻巣、与野、草加、蕨、戸田、入間、志木、桶川、久喜、北本、八潮、三郷、蓮田、坂戸、幸手、鶴ヶ島、日高、吉川、千葉、船橋、木更津、松戸、野田、成田、東金、習志野、柏、市原、流山、八千代、我孫子、鎌ヶ谷、君津、四街道、袖ヶ浦、八街、印西、昭島、東大和、武蔵村山、稲城、横須賀、平塚、逗子、三浦、伊勢原、座間、南足柄、各務原、可児、三島、裾野、名古屋、岡崎、一宮、春日井、津島、刈谷、豊田、安城、犬山、江南、小牧、稲沢、東海、大府、知多、知立、尾張旭、岩倉、豊明、日進、津、四日市、桑名、鈴鹿、名張、彦根、近江八幡、草津、守山、京都、舞鶴、宇治、亀岡、城陽、長岡京、八幡、京田辺、池田、高槻、貝塚、茨木、泉佐野、大東、和泉、柏原、摂津、高石、泉南、阪南、尼崎、西宮、芦屋、伊丹、相生、龍野、赤穂、三木、高砂、川西、三田、加西、奈良、大和高田、大和郡山、天理、桜井、五條、御所、生駒、香芝、和歌山、海南、橋本、有田、広島、呉、大竹、東広島、廿日市、宇部、防府、下松、岩国、光、新南陽、高松、松山、今治、西条、高知、行橋、筑紫野、津久見、鹿児島、川内、鹿屋、国分、石川

<低入所待機率・高女性就業率都市群（Ⅳ群）>（331都市）

小樽、北見、夕張、網走、美唄、芦別、赤平、紋別、三笠、根室、深川、伊達、五所川原、十和田、三沢、むつ、盛岡、宮古、花巻、久慈、遠野、一関、陸前高田、釜石、二戸、塩釜、気仙沼、白石、角田、岩沼、能代、横手、大館、本荘、男鹿、大曲、鹿角、米沢、寒河江、上山、村山、長井、天童、東根、尾花沢、南陽、福島、会津若松、いわき、原町、須賀川、喜多方、相馬、二本松、石岡、下館、下妻、水海道、笠間、岩井、足利、佐野、鹿沼、今市、大田原、矢板、前橋、桐生、沼田、藤岡、富岡、秩父、本庄、羽生、銚子、館山、佐原、茂原、八日市場、旭、勝浦、鴨川、富津、千代田、中央、新宿、文京、台東、中野、杉並、豊島、北、鎌倉、小田原、新潟、長岡、三条、柏崎、新発田、新津、小千谷、加茂、十日町、見附、村上、燕、栃尾、糸魚川、新井、五泉、両津、白根、豊栄、上越、富山、高岡、新湊、魚津、氷見、滑川、黒部、礪波、小矢部、金沢、七尾、小松、輪島、珠洲、加賀、羽咋、松任、敦賀、武生、小浜、大野、勝山、鯖江、甲府、富士吉田、塩山、都留、山梨、大月、長野、松本、上田、岡谷、飯田、諏訪、須坂、小諸、伊那、駒ヶ根、中野、大町、飯山、茅野、塩尻、更埴、佐久、岐阜、大垣、高山、多治見、関、中津川、美濃、瑞浪、羽島、恵那、美濃加茂、土岐、静岡、沼津、清水、熱海、富士宮、島田、富士、磐田、掛川、御殿場、天竜、下田、湖西、豊橋、瀬戸、豊川、碧南、西尾、蒲郡、常滑、尾西、新城、高浜、伊勢、松阪、上野、尾鷲、亀山、鳥羽、熊野、福知山、綾部、宮津、洲本、豊岡、西脇、小野、篠山、田辺、新宮、米子、倉吉、浜田、出雲、益田、大田、安来、江津、平田、倉敷、津山、玉野、笠岡、井原、総社、高梁、新見、備前、竹原、三原、尾道、福山、三次、庄原、下関、山口、萩、徳山、小野田、長門、柳井、美祢、徳島、鳴門、小松島、阿南、丸亀、坂出、善通寺、宇和島、八幡浜、新居浜、大洲、川之江、伊予三島、伊予、北条、東予、室戸、安芸、南国、土佐、須崎、中村、宿毛、土佐清水、福岡、大牟田、直方、飯塚、田川、柳川、山田、甘木、八女、筑後、大川、豊前、中間、小郡、前原、佐賀、唐津、鳥栖、多久、伊万里、武雄、鹿島、佐世保、島原、諫早、福江、平戸、松浦、八代、人吉、荒尾、水俣、玉名、本渡、山鹿、牛深、菊池、宇土、日田、佐伯、臼杵、竹田、豊後高田、杵築、宇佐、宮崎、都城、延岡、日南、小林、日向、串間、西都、えびの、串木野、阿久根、名瀬、大川、加世田、西之表、垂水、平良、名護

表3 高入所待機率・高女性就業率都市群と社会経済的要因との関連性

変数	偏回帰係数 (標準誤差)	標準偏回帰係数	F 値(確率)	偏相関係数
年齢別人口構成比:45-60歳	-0.01(0.006)	-0.079	4.30(0.03852)	-0.079
就業人口比:第2産業	-0.01(0.001)	-0.145	15.29(0.00010)	-0.147
世帯当り新設着工住宅数	4.41(1.353)	0.125	10.63(0.00117)	0.123
定数	0.54			
重相関係数	0.220	寄与率 0.048		
F 値	11.723(3 , 691)	確率 0.00000		

表4 高入所待機率・低女性就業率都市群と社会経済的要因との関連性

変数	偏回帰係数 (標準誤差)	標準偏回帰係数	F 値(確率)	偏相関係数
年齢別人口構成比:65歳以上	-0.02(0.003)	-0.301	64.02(0.00000)	-0.291
人口密度	0.00(0.000)	0.218	33.48(0.00000)	0.215
定数	0.47			
重相関係数	0.439	寄与率 0.193		
F 値	82.768(2 , 692)	確率 0.00000		

表5 低入所待機率・低女性就業率都市群と社会経済的要因との関連性

変数	偏回帰係数 (標準誤差)	標準偏回帰係数	F 値(確率)	偏相関係数
年齢別人口構成比:65歳以上	-0.05(0.004)	-0.472	127.00(0.00000)	-0.404
人口密度	0.00(0.000)	0.404	58.67(0.00000)	0.288
世帯当り自動車保有台数	-0.36(0.048)	-0.342	54.47(0.00000)	-0.278
千人当たり病床数	-0.00(0.002)	-0.181	22.08(0.00000)	-0.181
定数	1.97			
重相関係数	0.514	寄与率 0.265		
F 値	58.548(4 , 651)	確率 0.00000		

表6 低入所待機率・高女性就業率都市群と社会経済的要因との関連性

変数	偏回帰係数 (標準誤差)	標準偏回帰係数	F 値(確率)	偏相関係数
年齢別人口構成比:65歳以上	0.06(0.003)	0.550	360.58(0.00000)	0.585
世帯当り自動車保有台数	0.30(0.031)	0.279	92.91(0.00000)	0.344
定数	0.47			
重相関係数	0.693	寄与率 0.480		
F 値	319.480(2 , 692)	確率 0.00000		

Ⅲ まとめ

まとめ

少子化の要因と地域分析に関する調査研究

1. 「少子化の要因と地域分析（S市とO市との比較）」

本研究においては、これからの地域政策を考える新たな手がかりを見いだすことをねらいとして、北海道内に在住し、保育園に通園している子どもの母親を対象にして、少子化現象と地域間格差について検討することを目的とした。

その結果、『出生率』の地域格差の成因として、人口構造的、産業・経済構造的要因などの社会経済的要因の相違、家族構成の相違、住宅事情の相違、母親の晩婚化、地域社会の血縁的・地縁的絆の相違、子育てに関する意識の違いなどが、女性の出産行動に対して影響を及ぼしているものと示唆された。少子化が地域格差を伴いながら進行していることから、今後は地域社会における子育て支援に関する地域の実情に応じた取り組みが一層重要なものとなると考える。

2. 「子育て支援施設の整備およびサービス状況における地域特性の分析」

全国 656都市を対象に、その人口統計、住宅状況、経済状況による特性分類を行い、次いで類型化された都市の地域特性分類群と、子育て支援施設の整備およびサービス状況との関連性について検討した。その結果、656都市の機能特性として、「地域活性規模特性」「都市化度特性」「産業特性」「成長特性」の4つの因子が抽出された。これら4因子からみた地域特性の特徴を検討したところ、656都市の地域特性分類群には11群が認められ、各群の特徴から、「地方小規模都市」、「地方高成長都市」、「大商圏形成都市」、「大都市圏準衛星都市」、「地方中核都市」、「大都市圏衛星都市」、「非成長都市」、「平均的地方都市」、「成長型地方工業都市」、「観光産業型地方都市」、「地方工業都市」に分類された。また、これら11群と子育て支援施設の整備およびサービス状況との関連性を検討したところ、保育所充足率、入所待機率（0～2歳児）、延長保育実施施設比率と群間に有意な違いが認められ、一時保育実施施設比率と群間には有意な違いが認められなかった。これらのことから、都市の地域特性の相違によって、子育て支援施設の整備およびサービス状況の格差が生じていることが明らかになった。

3. 「都市の社会経済類型と保育所入所待機率および女性の就業状況との関係」

全国 694都市ごとの低年齢児（0～2歳）の保育所入所待機率および25～39歳の女性の就業率の特徴と社会経済的要因との関連性について検討した。その結果、0～2歳児の保育所入所待機率と25～39歳女性の就業率が共に全国平均を上回っている「高入所待機率・高女性就業率都市群」（75都市）、25～39歳女性の就業率は全国値を下回っているが0～2歳児の保育所入所待機率は全国平均を上回っている「高入所待機率・低女性就業率都市

群」(95都市)、0～2歳児の保育所入所待機率と25～39歳女性の就業率が共に全国平均を下回っている「低入所待機率・低女性就業率都市群」(193都市)、25～39歳女性の就業率は全国値を上回っているが0～2歳児の保育所入所待機率は全国平均を下回っている「低入所待機率・高女性就業率都市群」(331都市)に分類された。このように、都市の地域特性の相違によって、女性の就業状況と保育所の整備状況の格差が生じていることが明らかになった。大都市を中心に保育所の新設をふくむ、本格的な保育所整備計画を国が策定し、不動産の高い都市部での建設費の国庫補助や保育所運営費の増額など、急場しのぎでない財政的措置をとることが必要であると考えられる。

IV 資料

資料1 調査研究実施要綱

少子化の要因と地域分析に関する調査研究実施要綱

1. 目的

少子化のもたらす問題は、子ども自身への影響にとどまらず、将来の労働人口の減少や年金などの社会保障費用に係わる現役世代の負担の増大、経済成長率の低下、若年労働力の減少による社会の活力そのものの減退等の影響が懸念されている。そのため、一連の少子化関連対策が打ち出されている。しかしこの活発な政策的動きにもかかわらず、出生率は低下し続けている。この少子化現象を少しでもくい止めることが、わが国の政策上緊急かつ重要な課題となっている。

ところが、乳幼児を持つ母親の子育て意識・困難との関連で総合的に検討したものは極めて乏しく、地域特性を踏まえながら、その地域間の格差に注目した分析はほとんど認められない。地域の視点から少子化をどのように考えるのかといったことが今後の大きな課題となっている。

本研究は、今後の子育て支援の方策に対する指針を得ることをねらいとして、北海道内に在住し、乳幼児を持つ母親を対象にして、1) 少子化現象と母親自身の子育ての意識や育児困難の関連性を検討すること、2) 少子化現象と地域間格差について検討することを目的とする。

2. 実施主体および期間

調査研究の実施主体は平成13年度厚生省科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）を受けて「少子化の要因と地域分析に関する調査研究委員会」（以下、本委員会という）とし、調査期間は平成13年10月上旬から下旬までの3週間の間に行うものとする。

3. 実施方法

1) 調査研究委員会の設置

調査研究を行うため本委員会の中に、以下の専門委員会を置く。

委員長 佐藤秀紀（青森県立保健大学健康科学部教授）
副委員長 鈴木幸雄（北海道医療大学看護福祉学部助教授）
委員 佐藤秀一（青森県立保健大学健康科学部講師）

（1）調査内容検討専門委員会

委員長 鈴木幸雄（北海道医療大学看護福祉学部助教授）
委員 佐藤秀一（青森県立保健大学健康科学部講師）

（2）分析専門委員会

委員長 佐藤秀一（青森県立保健大学健康科学部講師）
委員 鈴木幸雄（北海道医療大学看護福祉学部助教授）

2) 調査対象地域・対象の選定方法等

調査の対象は、北海道内において、『出生率』の低い地域のS市（『出生率』；1.32）および『出生率』の高い地域のO市（『出生率』；1.47）を選定し、それぞれの地域の保育園および幼稚園に通園している子どもの母親 800名とする。

3) 調査員の選定

調査方法は、調査票を作成し、各保育所および幼稚園の担当者を通じ、本人への配布・回収を行う。その際、研究目的を説明の上での同意の取得、不参加の自由を伝えることを遵守の上、被調査者の匿名性やプライバシーを保障するために無記名方式を採用するとともに、回収に際しては添付した封筒に厳封の上、郵送で回収することとする。

4) 調査内容

調査対象すべてに「少子化の要因と地域分析に関するアンケート」を実施する。

調査内容は、1) 家庭と住まいの状況、2) 母親自身の状況、3) 夫の家事・育児の参加状況、4) 子育てについての考え方とする。

家庭と住まいの状況に関しては、現在の子ども数、将来の予定する子ども数、理想として育てたい子ども数、育てたい子ども数と実際の子ども数の違いの理由、家族形態、母親の実家との距離、父親の実家との距離、住居のタイプ、居住年数等とする。

母親自身の状況に関しては、母親の年齢、母親の教育歴、母親の結婚時の年齢、母親育児体験、母親の就労の有無、母親の職歴、母親の社会的活動、母親の平日に使用している自由時間、母親の自由時間の活動、母親の交友関係、専業主婦に対する仕事に関する要望、母親の雇用形態、母親の職業、母親の出勤時間、母親の帰宅時間、母親の収入（月平均）、母親の仕事についての悩みや不満、母親の就労観、母親の就労継続の意思等とする。

夫の家事・育児の参加状況に関しては、家事・育児への参加状況、夫に対する評価、父親の年齢、父親の雇用形態、父親の職業、出勤時間、帰宅時間、夫婦での共同行動、家族での共同行動、父親の収入等とする。

子育てについての考え方に関しては、子育てする上での支え、子育てする上での困難、子育てする上での相談相手、本人の問題に対しての相談相手、育児サービスの要望、子育てする上でのサポート状況、自分にとっての子どもの存在、子育てに関する意見に対して等を調査項目とする。

5) 調査員への説明会の実施

各保育所および幼稚園の担当者をに対する説明会を本委員会が行う。

6) 回収された調査票は「分析専門委員会」において集計と解析を行い、最終的に本委員会がまとめを行う。

4. 報告書の作成

本委員会は報告書を平成14年3月31日までに作成し、同4月20日までに厚生省に提出すること。

子育てについてのアンケート

I. ご家族と住まいについておたずねします。

問1 現在のお子さん全員の年齢と性別をお答えください。

	年齢	性別
第1子	() 歳…	(男 ・ 女)
第2子	() 歳…	(男 ・ 女)
第3子	() 歳…	(男 ・ 女)
第4子	() 歳…	(男 ・ 女)
第5子	() 歳…	(男 ・ 女)

問2 将来の予定は、何人まで育てたいと思いますか。

現在いるお子さんの数も含めてお答えください。

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上

問3 それでは、あなたが理想として育てたい子どもの数は何人ですか。

現在いるお子さんの数も含めてお答えください。

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上

問4 あなたが育てたい子どもの数よりも実際の子ども数が少ない場合、その理由としては次のどれがあてはまりますか。あてまるものをいくつでも選んで○をしてください。

- ① 子どもを育てるのにお金がかかる。
- ② 子どもを育てることが体力的につらい。
(高年齢である、自分の健康に不安がある)
- ③ 子どもを育てることが精神的負担である。
(子どもの育てかたがわからない、子どもが嫌いである・かわいく思えない)
- ④ 今の世の中や将来に対して、不安である。
- ⑤ 家が狭い。(地域の環境が悪い)
- ⑥ 仕事との両立がむずかしい。(保育施設が不十分である、育児休暇が取れない)
- ⑦ 夫の協力・理解が少ない。
(夫の仕事が忙しすぎる、夫があなたの家事や育児の大変さをわかってくれない)
- ⑧ 親の協力・理解が少ない。
(家族や親族の援助が得られない、家族や親族が子育てに口を出してくる)
- ⑨ 子どもがなかなか産まれない。
- ⑩ 子どもを生み育てることに困難となっていることはない
- ⑪ その他 ()

問5 問4のなかで、1番目と2番目に障害となっていることはどれですか。

それぞれ1つずつ選んで、()にお答えください。

- 1番目に障害となっていること……()番
2番目に障害となっていること……()番

問6 問4で、「①子どもを育てるのにお金がかかる」を選んだ方におたずねします。

家計に負担となっているものは、何ですか。次の中から、負担となっている順に2つまで選んで、()にお答えください。

- ① 幼稚園・保育所の保育料 ② 習い事・ワークなどの教育費
③ 子どもの衣服費 ④ おもちゃ・本代
⑤ 食費・お菓子代 ⑥ 学資保険・生命保険料代
⑦ その他()

1番目に負担となっているもの……()番

2番目に負担となっているもの……()番

問7 あなたのご家族は次のどれにもっとも近いですか。

- ① 父母+子 ② 父母+子+祖父母 ③ 父+子 ④ 父+子+祖父母
⑤ 母+子 ⑥ 母+子+祖父母 ⑦ その他

問8 あなたの実家は、お宅からどのくらいですか。

- ① 一緒に住んでいる ② 歩いていける距離
③ 車や電車で1時間以内 ④ 車や電車で1時間を超える北海道内
⑤ 北海道外 ⑥ その他()

問9 あなたのご主人の実家は、お宅からどのくらいですか。

- ① 一緒に住んでいる ② 歩いていける距離
③ 車や電車で1時間以内 ④ 車や電車で1時間を超える道内
⑤ 道外 ⑥ その他()

問10 現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。

- ① 一戸建て持家 ② 分譲マンション等の持家
③ 借家・アパート・マンション(賃貸) ④ 公営(道・市・町営、雇用促進)住宅
⑤ 社宅・官舎 ⑥ 公社・公団住宅(賃貸)
⑦ 間借り ⑧ 親等の家に同居
⑨ その他()

問11 現在の住所での居住年数は、何年ですか。

- ① 1年未満 ② 1～3年未満 ③ 3～5年未満 ④ 5年以上

Ⅱ. お母さん自身についておたずねします。

問 12 あなたの年齢を教えてください。

- ① 10代 ② 20歳～25歳未満 ③ 25歳～30歳未満
④ 30歳～35歳未満 ⑤ 35歳～40歳未満 ⑥ 40歳以上

問 13 あなたが最後に卒業した学校は、次のどれですか。

- ① 中学校 ② 高校 ③ 専門学校 ④ 短大 ⑤ 大学 ⑥ 大学院

問 14 あなたがご主人と結婚されたのは、あなたが何歳の時でしたか。

- ① 10代 ② 20歳～25歳未満 ③ 25歳～30歳未満
④ 30歳～35歳未満 ⑤ 35歳～40歳未満 ⑥ 40歳以上

問 15 あなたは、自分の子どもができるまでに、他の子どもを抱いたり遊んだりしたことがありましたか。

- ① よくあった ② たまにあった ③ まったくない

問 16 では、自分の子どもができるまでに、他の子どもに食事を食べさせたり（ミルクを飲ませたり）、おむつを換えたりすることがありましたか。

- ① よくあった ② たまにあった ③ まったくない

問 17 あなたは現在、お仕事をされていますか。

- ① 働いていない ② 働いている

問 18 あなたの職歴は次の中でどれに近いですか。1つだけ選んで○をしてください。

- ① 仕事をしていたが、結婚がきっかけでやめた。
② 仕事をしていたが、出産がきっかけでやめた。
③ 仕事をしていたが、結婚・出産以外の理由でやめた。
④ これまでに、仕事についたことがない。
⑤ 現在も、仕事を続けている。(育児などの休暇後に仕事復帰した場合も含む)
⑥ その他 ()

問 19 次のような家事や仕事以外の活動のうち、あなたが現在なさっているものをすべて選んで○をしてください。

- ① 趣味・教養に関する習いごとやサークル ② ボランティア活動
③ PTAや地域活動 ④ 育児・子育てサークル
⑤ その他 ()

問 20 あなたが、あなた自身のために使える時間は、平日の場合で、一日平均どの程度ですか。もっとも近いものを1つだけ選んで○をしてください。

- ① まったくない
- ② 30分くらい
- ③ 1時間くらい
- ④ 2時間くらい
- ⑤ 3時間くらい
- ⑥ 4時間くらい
- ⑦ 5時間くらい
- ⑧ 6時間くらい
- ⑨ 7時間以上

問 21 その自由に使える時間には、おもにどのようなことをなさっていますか。
いくつでも○をしてください。

- ① テレビやビデオを見る（音楽をきく）
- ② 新聞を読む
- ③ 雑誌や本を読む
- ④ 何もしないでのんびりしている
- ⑤ 友達などに電話をかけたり手紙を書く
- ⑥ 近所・友達の家に出かける
- ⑦ 地域や社会活動をする
- ⑧ 買い物に出かける（散歩する）
- ⑨ 資格・趣味のための学習をする
- ⑩ 習い事に出かける
- ⑪ スポーツをしに出かける
- ⑫ カラオケに行く
- ⑬ パチンコに行く
- ⑭ お酒を飲みに行く
- ⑮ その他（)

問 22 現在あなたは、どのような人と、おもに交際をしていますか。
いくつでも選んで○をしてください。

- ① 学生時代からの友人
- ② 保育園・幼稚園を通しての友人
- ③ 保育園・幼稚園以外の子どもを通しての友人
- ④ 夫を通しての友人
- ⑤ 近所や地域の人たち
- ⑥ 仕事を通しての友人
- ⑦ 趣味を通しての友人
- ⑧ 自分の親やきょうだいや親戚
- ⑨ 夫の親やきょうだいや親戚
- ⑩ その他（)
- ⑪ 家族以外にあまりつき合いはない

問 23 専業主婦の方におたずねします。

次の仕事に関する要望のなかで、どれが、あなたの考えにもっとも近いですか。

1つだけ選んで○をしてください。

- ① 子どもが預かってくれるところがあれば今すぐにでも、フルタイムで働きたい。
- ② 子どもが預かってくれるところがあれば今すぐにでも、パートタイムで働きたい。
- ③ 末子が3歳を過ぎた頃に、フルタイムで働きたい。
- ④ 末子が3歳を過ぎた頃に、パートタイムで働きたい。
- ⑤ 末子が小学校に入った頃に、フルタイムで働きたい。
- ⑥ 末子が小学校に入った頃に、パートタイムで働きたい。
- ⑦ 末子が中学校に入った頃に、フルタイムで働きたい。
- ⑧ 末子が中学校に入った頃に、パートタイムで働きたい。
- ⑨ 特に働こうとは思わない。
- ⑩ その他（)

*****このあと問 24～問 31 は、働いている方への質問です。*****
*****働いていない方は、問 32 へお進みください。*****

問 24 仕事をされている方におたずねします。あなたの雇用形態は次のどれですか。

- ① 民間企業の正社員・正職員（常勤雇用） ② 公務・団体の正職員（常勤雇用）
③ 臨時雇用（季節雇用も含む） ④ パートタイマー
⑤ 無職 ⑥ その他（ ）

問 25 仕事をされている方におたずねします。あなたの仕事は次のどれにあたりますか。
おもなものを1つだけ選んで○をしてください。

- ① 事務（一般事務など）
② 店員（スーパー・商店の店員など）
③ 営業・セールス（保険・自動車などのセールス）
④ 農・林・水産業
⑤ 運輸・通信（職業運転手、荷役などの運輸従業者、通信従事者）
⑥ 製造・建設業（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）
⑦ 工員・作業員
⑧ 理容・美容などのサービス業
⑨ 飲食店などのサービス業
⑩ 専門職・技術的職業（医師、看護師、保育士、教員、弁護士、税理士など）
⑪ 管理的職業（会社などの役員、管理職など）
⑫ その他（ ）

問 26 仕事をされている方におたずねします。

あなた、ふだん何時ごろに出勤しますか。

- ① 午前7時前 ② 午前7時～8時前 ③ 午前8時～9時前
④ 午前9時～10時前 ⑤ 午前10時～午後5時前 ⑥ 午後5時以降
⑦ 決まっていない（交代勤務など）

問 27 仕事をされている方におたずねします。

あなたが仕事から帰宅されるのは、ふだん何時ごろになりますか。

- ① 早朝 ② 午前10時ごろ ③ 昼ごろ ④ 午後6時ごろ
⑤ 午後8時ごろ ⑥ 午後10時ごろ ⑦ 午後11時よりも遅い時間
⑧ 決まっていない（交代勤務など）

問 28 仕事をされている方におたずねします。

あなた自身の仕事から得られる収入は、現在、月平均でいくらですか。

- ① 2万円未満 ② 2～5万円未満 ③ 5～8万円未満
④ 8～15万円未満 ⑤ 15～20万円未満 ⑥ 20万円以上 ⑦ わからない

問 29 仕事をされている方におたずねします。

現在の仕事についての悩みや不満についてお聞かせください。

おもなものを1つだけ選んで○をしてください。

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| ① 勤め先が遠い | ② 勤務時間が長い | ③ 夜勤や交代勤務がある |
| ④ 残業が多い | ⑤ 休みがとりにくい | ⑥ 収入が少ない |
| ⑦ 資格をいかせない | ⑧ 雇用や身分が不安定 | ⑨ 昇給、昇進が遅い |
| ⑩ 仕事の内容が難しい | ⑪ 仕事の内容がつまらない | ⑫ 仕事がきつい |
| ⑬ 職場の人間関係がよくない | ⑭ その他 () | |
| ⑮ 特にない | | |

問 30 仕事をされている方におたずねします。

あなたにとって、働くことの意味は何ですか。次の中から、主なものを2つ以内で選んで○をしてください。

- | | | |
|-------------------|--------------------------------|---------|
| ① 自分の能力を生かすため | ② 収入を得るため | ③ 生きがい |
| ④ 自分のプライドを満たしてくれる | ⑤ 社会勉強 | ⑥ 自立のため |
| ⑦ 他人がすすめるから | ⑧ 技術を身につける | |
| ⑨ 他の人と接する機会をもつため | ⑩ その他 () | |

問 31 仕事をされている方におたずねします。

これから先も、いまの仕事続けるつもりですか。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| ① いまの仕事が続けたい | ② 仕事の内容(職種)をかえたい |
| ③ 勤め先をかえたい | ④ 常勤の仕事に変わりたい |
| ⑤ パートの仕事に変わりたい | ⑥ 仕事をやめたい |
| ⑦ その他 () | |

*****ここからは、すべての方がお答えください。*****

Ⅲ. ご主人の家事・育児について、お母さんにおたずねします。

問 32 あなたの夫は、お子さんに関して、次の項目をしてくれることが、どのくらいありますか。

A～Zのそれぞれについて、あてはまるところに○をつけてください。

	いつも している	ときどき している	あまり していない	まったく しない
A. 休日や帰宅後に子どもの遊び相手をする（勉強を見る）①	②	③	④	
B. 子育てに関することで夫婦で話しあう……………①	②	③	④	
C. あなたの悩みやグチを聞いてくれる……………①	②	③	④	
D. 保育園・幼稚園に子どもを送って行く（迎えに行く）…①	②	③	④	
E. あなたの外出中に子どもの世話をする……………①	②	③	④	
F. 子どもと一緒に風呂に入る……………①	②	③	④	
G. 子どもの着替えを手伝う（おむつを替える）……………①	②	③	④	
H. 子どもと一緒に夕食をとる（食事を食べさせる）……………①	②	③	④	
I. 子どもを寝かしつける……………①	②	③	④	
J. 子どもが病気のときに仕事を休んで看病する……………①	②	③	④	
K. 休日に家族を連れて出かける……………①	②	③	④	
L. 食品の買い物と一緒に行く……………①	②	③	④	
M. 食事をつくる……………①	②	③	④	
N. 食器を洗う……………①	②	③	④	
O. お風呂の掃除や準備をする……………①	②	③	④	
P. ゴミ捨てをする……………①	②	③	④	
Q. 部屋の掃除をする……………①	②	③	④	
R. 洗濯をする（洗濯を干すまたはたたむ）……………①	②	③	④	
S. アイロンがけをする……………①	②	③	④	
T. 保育園・幼稚園のお便りを書く……………①	②	③	④	
U. 保育園・幼稚園の行事に参加する……………①	②	③	④	
V. 子どもの疑問や話しかけにきちんと答える……………①	②	③	④	
W. 子どもがいけないことをしたときには叱る……………①	②	③	④	
X. 写真をとるなどの子どもの成長記録をつける……………①	②	③	④	
Y. 子どもを病院へ連れていく……………①	②	③	④	
Z. その他（……………）……………①	②	③	④	

問 33 あなたは、ご主人について次のように思うことがありますか。A～Rのそれぞれについて「そう思う」「そうは思わない」のいずれかに○をつけてください。

	そう思う	そうは思わない
A. 夫に、もっと家事に協力してほしい……………①	①	②
B. 夫に、もっと育児に参加してほしい……………①	①	②
C. 夫は子どもにきびしすぎる……………①	①	②
D. 夫は子どもに甘すぎる……………①	①	②
E. 夫に子どもともっと遊んでほしい……………①	①	②
F. 夫は子どもにかまひすぎる……………①	①	②
G. 夫は子どもに無関心すぎる……………①	①	②
H. 子どものことについてもっと相談に乗ってほしい……………①	①	②
I. 夫は頼りにならない……………①	①	②
J. 夫には何を話してもムダだ……………①	①	②
K. 夫は仕事第一主義である……………①	①	②
L. 夫は私を人生のパートナーとして大切に思っている……………①	①	②
M. 夫は家族よりも趣味に没頭している……………①	①	②
N. 夫は家族よりも友人関係を大切にする……………①	①	②
O. 夫は何かと実家に頼りすぎる……………①	①	②
P. 「男は仕事、女は家庭」という考えをもっている……………①	①	②
Q. 夫は子育ては夫婦の責任だと思っている……………①	①	②
R. 夫は疲れている……………①	①	②

問 34 ご主人の年齢は何歳ですか。

- ① 10代 ② 20歳～25歳未満 ③ 25歳～30歳未満
 ④ 30歳～35歳未満 ⑤ 35歳～40歳未満 ⑥ 40歳以上

問 35 ご主人の雇用形態は次のどれですか。

- ① 民間企業の正社員・正職員（常勤雇用） ② 公務・団体の正職員（常雇用）
 ③ 臨時雇用（季節雇用も含む） ④ パートタイマー
 ⑤ 無職 ⑥ その他（ ）

問 36 ご主人の仕事は次のどれにあたりますか。おもなものを1つだけ選んで○をしてください。

- ① 事務（一般事務など）
- ② 店員（スーパー・商店の店員など）
- ③ 営業・セールス（保険・自動車などのセールス）
- ④ 農・林・水産業
- ⑤ 運輸・通信（職業運転手、荷役などの運輸従業者、通信従事者）
- ⑥ 製造・建設業（製造、加工、組立、建設、修理などの従事者）
- ⑦ 工員・作業員
- ⑧ 理容・美容などのサービス業
- ⑨ 飲食店などのサービス業
- ⑩ 専門職・技術的職業（医師、看護師、保育士、教員、弁護士、税理士など）
- ⑪ 管理的職業（会社などの役員、管理職など）
- ⑫ その他（)

問 37 ご主人は、ふだん何時ごろに出勤しますか。

- ① 午前7時前 ② 午前7時～8時前 ③ 午前8時～9時前
- ④ 午前9時～10時前 ⑤ 午前10時～午後5時前 ⑥ 午後5時以降
- ⑦ 決まっていない（交代勤務など）

問 38 ご主人が仕事から帰宅されるのは、ふだん何時ごろになりますか。

- ① 早朝 ② 昼ごろ ③ 午後3時ごろ
- ④ 午後5～6時ごろ ⑤ 午後7～8時ごろ ⑥ 午後9～10時ごろ
- ⑦ 午後11時よりも遅い時間 ⑧ 決まっていない（交代勤務など）

問 39 この半年間に、あなたとご主人と二人だけで（お子さん抜きで）なさったことすべてを、次にあげてあるものの中から、いくつでも選んで○をしてください。

- ① テレビやビデオを見る、音楽をきく ② 買い物に行く
- ③ 映画・観劇・コンサートに行く ④ 外食をする
- ⑤ ドライブ・ハイキングに行く ⑥ 旅行・キャンプに行く
- ⑦ スポーツをする ⑧ ゲームをする
- ⑨ カラオケに行く ⑩ パチンコに行く
- ⑪ 家でお酒を飲む ⑫ ゆっくり話をする
- ⑬ その他（)

問 40 この半年間に、ご家族全員で（夫や子どもと一緒に）なされたことすべてを、次にあげてあるものの中から、いくつでも選んで○をしてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| ① テレビやビデオを見る、音楽をきく | ② 買い物に行く |
| ③ 映画・観劇・コンサートに行く | ④ 外食をする |
| ⑤ ドライブ・ハイキングに行く | ⑥ 旅行・キャンプに行く |
| ⑦ スポーツをする | ⑧ ゲームをする |
| ⑨ カラオケに行く | ⑩ 家でお酒を飲む |
| ⑪ ゆっくり話をする | ⑫ その他（ ） |

問 41 あなたの世帯すべての年収は、税込みで次のどれにあてはまりますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| ① 200万円未満 | ② 200～300万円未満 |
| ③ 300～500万円未満 | ④ 500～700万円未満 |
| ⑤ 700～1000万円未満 | ⑥ 1000万円以上 |

問 42 ご主人の育児・家事に対する感想や要望などをご自由にお書きください。

IV. 子育てについて、ご意見をお聞かせください。

問 43 あなたが子育てをするうえで、支えや役に立っていることは、どのようなことですか。次のうちからあてはまるものをいくつでも選んで○をしてください。

- ① 労働条件が恵まれていること
- ② 夫の協力が得られやすいこと
- ③ 親戚などの協力が得られやすいこと
- ④ 子育ての楽しさや悩みを共有できる友人がいること
- ⑤ 保育園や幼稚園が、子どもを預かってくれていること
- ⑥ 保育園や幼稚園が、子育てを一緒に考えたり、励ましたりしてくれること
- ⑦ その他 ()

問 44 問 43 のなかで、1 番目と 2 番目に支えとなっていることはどれですか。

それぞれ 1 つずつ選んで、() にお答えください。

1 番目に支えとなっていること…………… () 番

2 番目に支えとなっていること…………… () 番

問 45 では、育児で特にたいへんなことは、どのようなことですか。

次のうちからあてはまるものをいくつでも選んで○をしてください。

- ① 寝不足になる(体が疲れる) ② 自分の時間がもてない
- ③ 何かとお金がかかる ④ 子どもが思い通りにならずイライラする
- ⑤ ごんな育て方で、ちゃんと育てくれるのだろうかと不安になる
- ⑥ 世の中からとり残されて、孤立した感じがする
- ⑦ 子どもにかまけてばかりで、自分の能力や意欲を生かしているという充実感がない
- ⑧ 自分のしている育児が評価されない
- ⑨ その他 ()

問 46 問 45 のなかで、1 番目と 2 番目にたいへんなことはどれですか。

それぞれ 1 つずつ選んで、() にお答えください。

1 番目にたいへんなこと…………… () 番

2 番目にたいへんなこと…………… () 番